



國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

116



國家圖書館出版社



國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

116

國家圖書館出版社

第一一六冊目錄

昭和四年（一九二九）調查報告（第二十六期生）

南支那沿岸各港ニ於ケル住民生活狀態

華南沿海各港口居民的生活狀態

長谷勸

第三十二卷

.....

一

廣東地方ノ蠶業調査

廣東地區的蠶業調査

重松敏夫

第三十三卷

.....

二九三

山東省、河北省ノ棉花

山東省、河北省の棉花

石田武夫

第三十四卷

.....

四二三

遼河流域ニ於ケル阿片

遼河流域の鴉片

横井幸重

第三十五卷

.....

五三七

天津ニ於ケル紡績業ノ研究
天津紡績業の研究

茂木有禎

第三十六卷 五九七

第三章

南支那沿岸各港に於て

住民生活状態

第一

章

広東福建両省住民ノ

衣贍住

第一節

衣類装身具

広東福建両省人ノ衣服ハ概シテ一様種ノモノアリ然レ

(A) 男子ノ部

汗衫、汗襖、

(シャツ、ツボシ)

衫、襖又ハ馬襖

(上衣トツボシ)

長衫、

(羽織、当ン略礼服ナリ)

套襖、

(左右一対ヨリナリ襖ノ上ニ着用スルモノ)

是等代ノ「ムカバキ」ニ似タルモノノ礼装

トしてモ 正 未 金 子 用 ヒラシガ、

脊 衫、高 龍 袋、国 褂、(何しモ 正 礼 装 々 々 矢

長 衫ノ上ニ着 用 ス、近 時ハ 高 龍 袋 衣 着

モ 流 行 ス)

大 褌、(外 套)

(B)、女 子ノ 部

緊 身、汗 衫、汗 褌、短 褌、(乳 巻、肌 褌 袴 スボ ント

猿 股)

衫、褌 (上 衣 ト スボ ント)

褌、夾 褌、綿 褌、(袴 纏ノ類、松 ト 綿 入)

大 褌、(羽 織、シテ 礼 装、)

脊 衫、(大 褌ノ上ニ着 用、形ハ 所 謂 フヤ 子ノコニ

似たり

裾、

(袴) 相當ス、古代之依んモノハ襦ノ上ニ着

用シ正礼装ナリ、新式之依んモノハ短襦ノ上ニ

着用ス

カーバーコート、

(近時モ多ク) 婦女子ノ間、流行ス、

之ヲ概シテ見ルニ上ニ中流ノ男子ノ衣食住ハ其ノ洋式ヲ

用セリ、アルガ、又一方ニ在テハ男子ノ服装ハ及

動的ニ清末ノ服装ニ歸リツキアリ、又女子ノ服

装ハ女子生ヲ中心トシテ男子ノ著シク仕立方

大ニ洋服ニ近接シ又材料モ舶来品ヲ用フ

ル事ニ多キヲ加ヘタリ、

即チ衣類ノ材料ハ男子ノ通ジテ肌膚類ノ金巾、

麻布、紬、熟絹、絹紗、フリス、ネン等、用也、上
 衣類（衫、襦袢）以上、外更紗、薄金巾、
 綿子（アムバカ）絨等、用、薯蓣、以テ染
 メタル、紅絹、雲紗、並、竹布ト称スルモノハ冷
 カシテ且、能ク洗濯ニ耐、濕熱タル西省地
 方ノ衣料トシテ最モ広ク愛用セラル、背衫
 套襦、馬褂、高麗袋、綿子、煉絹（日本
 ニテ所謂假子）薄、羅紗等ノ華美ナルモ
 一ヲ以テ製ス、此等ノ物々意匠多ク凝ミタル
 各種ノ綿子上（如、方面（蘇州、杭州））
 儼リ成リシ盛、地方、清、蘇等ニシテ、襦、衣、
 一、二、熟絹（系、少、年、縮、絹）ニテ、製スル、性、生、

等ノ用フンモノハ藍金巾、寒サージ等カ最モ
普通ニシテ時ニ綿子、羅紗等ノ方價高ク
用フンモノアリ、冬季ノ衣装ニハ往々綿入
スルモ及ラ付ンモノアリ、裏地ニ用フル材
料ハ薄絹（裏地用薄縮緬）馬尾織、
（毛織子）及木綿等アリ、

以上多ク都令ニ於ケル中流階級ノモノナリガ
下層社会スル山間僻地ノ民ハ今モ尚旧ノ如ク
不格好ニ仕立テラレタム紺深メノ布子ヲ纏ヒ又
階級ノ如キハ莫大小ノ「ヤリ」ヲ衫トシ「トコボシ」
ヲ襦トスルモノ多シ、

尚「前」ノ衫ハ袖空キ短ク襦モ亦細クシテ冬季ニ

3
於ニモ、外套、襪ヲ着用セズ、襪帶ヲ以テ足、頸部
ヲ紮ム。ノミニテ夏季ハ尚更着流シ多ク、宛然
トシテ洋袴ヲ穿キ、ト固シ体裁ヲ為セリ、女子
ノ服装ハ上記ノ如ク、学生ヲ中心トシテ著シキ
変化ヲ来シ、般人ハ服ハ行キ丈ノ短キ、袖窄
キ、袴ヲ着、西洋婦人ノ着用スル「スカート」ト
似タル短キ袴ヲ纏ヒ長留下ヲ穿キ、高蹠靴ヲ
履キ、一見西洋婦人ノ如ク輕快トシ、装ビヲ為
セリ、冬季ハ往々洋式外套ヲ着ス、人々ヤ斯ノ
如キ服装ハ一般青年婦女子ヲ凡庸セスト
シテナル、而シテ年輩ノ婦人ハ尚舊式ヲ喜
ミ、古来ノ寛濶長大ナル袴ヲ着用シ

冠帽裁并染ノ大礼ニ古式ノ大袴ヲ着ケ裾ヲ纏
フ、大袴ハ上等ノ襦子ヲ以テ造リ刺繍ヲ施
シ裾トサ薄キ縮緬ニテ造リ日本ノ袴前無
ト稱スルモノ、如キ襦子ヲ取り裾トシテ着用シ
テ履物ヲ履クハ、
一、和子ノ礼装トシテ襦子ハ不套襦子ヲ着ケ
長衫ノ上ニ背衫ヲ着ケ更ニ白ノ上ニ馬褂ノ
代リ、高龍袋ヲ着ケテ略式ニスル事モ
アリ、此ノ近時ノ如ク夏冬ニテモ襦子ノ着流シ
如キトモノハ非ズ、木綿ノ藍袍ヲ着ケテ袴
躬如クシルカ如キ所々横ノ風ハ地ニ松ヒテ臨リ
ニ華美驕奢者ニ流シテ却ケ在来ノ礼儀

素しきんう 慨るん もくくく之か為ナナリ、

帽子

田子ノ帽子も 夏季に「バ」マシ スト「エルト」
帽ヲ頂キ 麦稈帽ノ 日本ノ 特産トリヒテ

先年 麥稈 日 以後之ヲ 用フンセノサエ、 夏季

ミト 古来ノ 支那 帽ヲ 被ルンモノ多ク 島打帽

「ヘル」ナリトハ 多ク 此ノ 御者ノ 使用ルンナリ、

中流以下 近年 華者ハ 夏期 帽ヲ 用ヒザン

モノ多シ、

女子ハ 稀ニ 洋式ノ 頭布ヲ 被シトモ 概シテ 用ヒズ

包頭ト稱スル 黒綿子ニ 刺繍アル (時々 赤珠

宝石等ヲ 挿ム) 鉢巻様ノ モヲ 用フン事アリ、

又婦女子ト云々ト好シデモ糸製ノ襪モ用ス

靴ト靴下

靴ト古来ノ支那式ノ綿子又ハ絨ヲ以テ例テ

造リ、底ヲ以テ底ヲ造リ、ソールモノ漸ク磨シ

テ革底ノモノ流行セリ、従リテ都人ト云フ

トペテトシカ、ア製ノ夜今靴下ヲ穿ルモノ

アリ、女子トサ藍、白、桃色、紫等種々ノ華

美タル毛織子ニ刺繍ヲ施シタル襪ヲ穿

テ、又洋式ノ婦人靴ヲ履キセリ、一般

ニ革製ノスリッパヲ引キセリ、又冬ニ

水留ト古来紳士階級ニアリト云フモノモ

用ヒ、紺色ノモノハ下等品視サレシモ近年ハ

黑色最も流行シ又時々美術的の意匠セラル

ルモノカ用ヒラハ、女子ト裙ノ裾ノ概々ト裾

ヲ着ルヲ以テ背下ト云ハ長キモノ用フ、色ハ

黒ト白トカ最も多クレトモ又種々ノ意匠有ル

モノ用フ、人絹類ハ近年來ノ使用ニ係リタリ

トモ、黒、桃色多シ、中流以下ノ階級ニテハ

既足ニシテ又種々背下ヘモ用ヒガハセリ、

今、

洋今ト男共共ニ之ヲ携帶ス、近年紙製衣ノ兩本

流行セリ、之ニ蓋シ洋今ト概テ輸入品トカ又輸入

材料ト云フモノ製造セラル、モノサハト土貨振興スノ一

端トシテ紙ノ紙今ノ流行ヲ見ルニテカ、

手巾、扇子、團扇、

手巾、扇子並に團扇ハ之レ亦当地に人必携品ノモノナリ、
扇子、團扇ハ勿論夏季ノ專用品（俄式ヨリ甚ク限ラ
ズ）コレヲ簾トモトハ一本、二仙ノ紙製又ハ簾
ノ如キヨリ亦ハ細ナルモノ一本おナクモ要スル所ノ物ナリ
至ルマデ各階級ヲ通ジテ愛用ス、

時計、指輪、腕輪

時計、指輪ハ一昨ニ嗜好セラルレ殊ニ婦女ニ於テ最も要
用ナルモノ、腕輪ハ近來田舎間ニ亦流行セズ婦
女亦何レカ於テ之ヲ細修シテ着用スル女學生等ハ所謂セ
キニ流ルニ漸次廢セラル、傾向アリ

手拭

手拭ハ各人必需ノモノナリガ數年前迄ハ日本製ノ
 藍染ノ手拭盛ニ需用セシタルガ近來ハ其ノ跡ヲ絶テ
 外國ニ之ニ代ヘリ、又ナルハ普通ノモノハ他方ニ製
 造カレ品質良好モノハ英國及日本ヨリ輸入セラル、腕
 正青晒巾ト稱スル一種ノ手拭流行ニ始メタリ之ハ正製
 品ナリ、

耳輪

耳輪ハ女子專用ノモノナリトモ之ハ腕輪ト同ジ漸次
 廢シ行リタリ、如シ、

美粧品並美容品

香水、顔料、煙脂、小刷毛、櫛、手鏡等、化粧用品多
 帶スルモノハ各國ト同ク倍々ハ、髪髻ハ極多ク餅